



3D レーザースキャナー
GLS-1000 を使用した

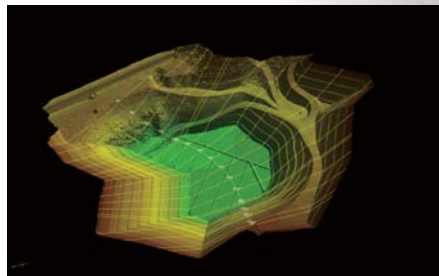
土木活用事例

従来のTSによる縦横断観測に比較して スキャナーの観測時間は半分以下！

フタバコンサルタント株式会社 様



危険と隣り合わせの作業をしていました。スキャナーを適用することによって非接触の計測が可能となり、安全を確保することができるようになりました。しかも、計測効率が格段に向上しました。従来のTSによる縦横断観測と比較して観測時間は半分以下です」と阿部社長は具体的な効果について説明する。その他にも、後処理で何処でも欲しい断面やポリウムが計測できる事やGLS-1000の簡単なオペレーションにより経験を問わない観測が可能となった。今回計測した廃棄物処理場は新設であり、埋立



て前の形状を計測した。約 300m×400mの広大な処理場全体の 3Dモデルを作成し、今後、定期的な計測を行い埋立て量の管理を行う予定だ。「3Dモデルを成果として含めて発注者に納品したところ“非常に分かり易い”と上々の評価を得られ、新たな付加価値を創造することができました」と同社、星広行測量部長は語る。さらに「成果品質を確保する為に関係部門の社員が集まって社内運用基準を作成しています。自分たちで自分たちのマニュアルを作成することは非常に楽しい事です」「熟練者も若い社員もスキャナーに関してはスタートが一緒でした。そうした中で若い社員が積極的に取組み、熟練者も負けぬように努力するという構図となり、会社の活性化の起爆剤になりました」と同社ではスキャナーが社内にも良い影響を与えている。現在、本社を含めた 4 事業所でスキャナーはフル稼働の状態であり、パソコンを追加購入した程の忙しさである。これら 3D スキャナーによる様々な業務実績は同社 HP 内に掲載され技術力の高さを伺い知ることができる。フタバコンサルタント様は造成、舗装、建築、文化財、古民家移築など、スキャナーを通じて描く未来は益々広がっている。

福島県いわき市に本社を置くフタバコンサルタント株式会社様は民間工事測量を主体とする測量・設計コンサルタント会社である。同社では 3D レーザースキャナー GLS-1000 を導入し、複数の産業廃棄物処理場のポリウム計測に適用し、成果を上げている。

同社、阿部好則社長は「業務の幅を広げる為に 3D レーザースキャナーを導入しました。元々民間事業を得意としていたが、厳しい景気の状態を打破するためには顧客の幅を広げる必要があると考えていました。我々の目的を達成する為には 3D レーザースキャナーは最適な道具です」と語る。

従来から廃棄物のポリウム計測業務を行っていた同社では 3D レーザースキャナーを利用することにより多くのメリットを感じているという。「最も優れたメリットは安全性です。廃棄物処理場は建設現場の様にトラックや重機が動き回っています。さらに、埋め立てられている廃棄物には様々なものがある為、計測作業員は